

Elm歌曲研究会会報 No.38

2008年12月21日発行 発行者 Elm歌曲研究会 会報係



●Elmミュージカリー第8弾Elm森の一日その3

「とんがらぐるみの話～いのちをつなぐうた～」を上演しました

秋の終わりと冬の始まりが同時に近づいてきた11月16(日)、箕郷文化会館で、小池静香先生原作のElmミュージカリー第8弾「Elm森の一日第3話とんがらぐるみの話～いのちをつなぐうた～」を上演しました。

今回で「Elm森の一日」シリーズも第3作目。前回の2作(「おおなベスープの話」「いい木の話」)は、少し短めのお話でしたが、今回は単独で一時間半の作品。Elm森の住人達も大喜びで演じていました。

Elm森の動物達が、自分のやるべき事をやらずに過ごしていたせいで、気付いたら至る所で大変な事態が！森は枯れ、川は濁り、海は汚れ…。しかし、動物達が自らの過ちに気付いた時に、川の主様が現われて、その命とひきかえにElm森を救ってくれたのでした。そして、今度は自分達はその意思を受け継ぎ生きていく事を決意する、というお話でした。

今、世界的な関心事ともいえる環境問題をベースに「生きることの責任」と「全ての事をつなぎつないでいく大切さ」を伝えたこの作品。そんな重厚なテーマの話を伊藤眞由美先生の演出で、ユーモアにあふれ、わかりやすくElmらしい劇に仕上がりに、会場は大盛り上がりでした。また、今回はたくさんの新しい人達が入団し、一生懸命演じていました。

当日は、小雨降る中、会場に足を運んでいただいたお客様、本当にありがとうございました。また、いつもElmを応援し、支えてくれている方々にも団員一同感謝の気持ちでいっぱいです。無事に開催できたのも皆さんのおかげです。今後も一丸となり、取組んでいきますのでご支援よろしくお願ひします。

(ミュージカリー係 石川裕之)

*小田原市在住のプロカメラマン菅野高博さんと助手の安達梨乃さんが御好意で、当公演の様様をたくさん撮って下さいました。その作品は、会報にも使用させて頂きました。また、インターネットのオンラインアルバムで、菅野さん管理の下、公開しています。以下にアドレスとパスワードを会員限定にて、お知らせします。どうぞ、是非ご覧下さい！

ページアドレス <http://www.imagegateway.net/a?i=plwDcLymTo>
パスワード ten

ウッキーッ！！猿のチャップをやらせていただきました、石川です。今回のElm森の一日は、シリーズ3作目、再演を含めると通算5回目となりますが、毎回思うのは、動物を演じるって難しい！ということです。私は運良く毎回、猿。名前、性格は違うとはいえ同動物。今回も配役が決った時は、経験済みだし、少しは楽できるな、と思ったのですが…。練習が始まり、日がたつにつれ悩みは増すばかり。衣装を着ればたしかに猿。でも、それがもつのは、ほんの少しの間だけ。気がつけば、演技中に人間に戻っていたり、出来たと思えば、どこかのテレビで見た(西遊記)のと同じようになっていたり…。なりきれない自分にもどかしさと恥ずかしさを感じる日々でした。でも、今回新しく入団してきた人達に刺激を受けているうちに、いつか、そんなことも忘れてしまって、本番ではとても楽しく演じる事が出来てました。

1つのものを作り上げる難しさと楽しさを毎回教えてくれるのが、このミュージカリー。大変なことも沢山あるけど、大道具作ったり、新しい出会いがあったり、やっぱり本番は楽しいし、始まる前はすごく緊張して、終わった後は感動する。舞台は色々な事を教えてくれます。見に来てくれる方々、応援してくれる方々、いつも本当にありがとうございます。また一緒に楽しい空間を作れたら、と思います。舞台は最高です。
(ミュージカリー団員 さるのチャップ役 石川裕之)



4歳児の親子としては大変楽しめました。タッチちゃんもおおいに楽しんだようで特にタヌキがよかったようです。お話もわかりやすかったし、欲を言えば衣装にもっと個性的な部分があったらいいかなと思いました。衣装とかセットも気に入って…お話の続き期待しています。また親子で拝見させていただきます。(お客様 銅版画家 糸井千恵美 様)

初めてミュージカリーを拝見しました。友人が初舞台で自分までドキドキしたりして、でも楽しく心が温まる時間でした。配役も舞台セットもバランスが良いと感じました。これからもどんどん頑張ってください。(お客様 田中 優 様)

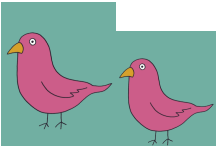


「とんがらぐるみの話」はストーリーもわかりやすく楽しく、考えさせられることもあり、とてもよいミュージカリーを見せてもらったと思います。

演じている人たちも声もよくとおりに上手で、気がつくときき込まれるように見えていました。そして照明や音楽の素晴らしい一体感も感じられました。このミュージカリーは子供にも大人も楽しめたのではないかと思います。改めて教えられたり、忘れてしまっていた気持ちを思い出させてもらえたような気がします。ありがとうございます。(お客様 小山薫子 様)



初めて舞台を観させていただきました。オリジナルの歌はとても素敵でした。やはり皆さん歌がお上手ですね。ステージ以外の場所を利用する演出も面白いと思います。ただ、お芝居をしている時に棒立ちの部分が多いのがちょっと気になりました。部分や特定の役の人だけでなく、全体的に動きがあると、観ているほうももっと楽しめると思います。これからも頑張ってください。(お客様 西澤 真規子 様)

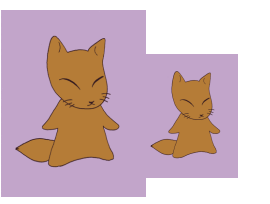


男性のずっしりとした歌声、女性の高らかな透きとおった歌声に感動しました。演技に関しても、あれだけ長いシナリオを頭に入れながらやり通すということに練習の苦労が伝わってくるようでした。

私が気に入ったのは、さるのチャップが、たぬきのポポンタにうさぎのモンモの危うい状況を伝える時の言葉なしのジェスチャーでした。大人にも子供にもおもしろいシーンかな、と感じました。

今回の脚本は、全体を通すと、子供には少し向かないようでしたが、主に大人対象だったのでしょうか？お子さんたちがたくさん見えている中、子供たちの反応が少なかったように思えました。その点ですと、せっかくなわいらしい動物という着ぐるみを着てるので、ふざけた体の動きや言葉を入れるとよかったかなあーと思いました。

次回又、楽しみにしています。頑張ってください！！(お客様 原 知子 様)





9月の半ば、初めてエルムのレッスンを見学しました。伊藤先生のパワーに圧倒されつつも、舞台のイメージに共感するものがあり、小池先生の創られた歌やストーリーに非常に感動し、皆さんの美しい歌声を聞き、迷わず参加させて頂きました。初心者でも、皆様方と共に歌うと、何故か自分まで上手くなったよう・・・な現象に酔いしれて、弾けてしまうほど本当に楽しい舞台でした。参加させて頂き感謝致します。ありがとうございました。

(ミュージカリー団員 動物合唱隊 ひよこ役 **堤 敏子**)



この度、ミュージカリーに初めて出演することとなり、一時どうなることかと心配しましたが、舞台が終わるとほっとしました。みなさんのエネルギーで生まれたミュージカリーは、本当に素敵だったと思います。

集団で行動することが苦手で、さらにあがり気味な私でしたが、みなさんに助けられて、ここまで来れたのだと思いました。

また次回もこのような機会があれば、頑張りたいと思います。

(ミュージカリー団員 動物合唱隊 トラ役 **武藤厚子**)



今まで観劇する側だった私ですが、ふとした機会に恵まれました。

練習をのぞきに行った時から、演じる人、そしてそれを作る人、その熱さにひかれました。限りある時間の中で、ひとつの作品を作り上げていく、その中でひとりひとりが、とてもあたたかく、私には大切な仲間が沢山出来ました。

すばらしい、熱い、かっこいい、仲間たちの作り上げたミュージカリー、いかがでしたか。私の白鳥役は、まだまだ大きく飛び立ちたい気持ちです。

ありがとうございました。

(ミュージカリー団員 動物合唱隊 白鳥役 **浅香千恵**)



私がElmを知ったのは3ヶ月前でした。母からミュージカルをやっている団体の話を聞き、軽い気持ちで見学に行った先で、何故か(?)即日メンバー入り、実力不足は感じながらも先日舞台にたたせていただきました。高校を卒業して以来の、私にとっては実に6年ぶりのミュージカル出演でした。

小池先生渾身の笑いあり涙ありの素晴らしい脚本、メンバーが作曲した素敵なオリジナルの曲の数々、伊藤先生の熱い指導のもと出来上がっていった魅力あるエルム森の世界...どれもこれも楽しくて、このお話がどんどん好きになっていきました。

途中、台本が変わって、オープニングとエンディングだけのはずだった出番が大幅に増え、第1幕全部にでることになりました。予定外の出来事でしたが、役をいただけたことで、舞台に立つ責任感を感じられるようになり、それと同時に「とんがらぐるみのはなし」に一層引き込まれていきました。

本番はとても緊張しましたが、すごく楽しい幸せな一時になりました。今回縁あって、大好きなミュージカルの舞台に立たれたことを本当に嬉しく思います。

今後もエルムで声を鍛え、来年の舞台には成長した姿をお見せできるように、頑張りたいと思います。

(Elmミュージカリー団員 動物合唱隊はつかねずみ役 **坂本真希子**)

● 歌曲の夕べ「ミニヨンと愛の夢」を開催します

来る2009年1月31日(土)午後7時より、高崎シティギャラリー・コアホールにおいて、歌曲の夕べ「ミニヨンと愛の夢」を開催します。

今回は、ドイツの文豪ゲーテの小説「ヴィルヘルムマイスターの修行時代」の中の「ミニヨンの歌」を特集します。ドイツ、フランス、ハンガリーの様々な作曲家によるミニヨンの歌の数々を、フォーレとリストの歌曲「愛の夢」と共にお送りします。

たくさんの作曲家たちの創作意欲を駆り立てたこの作品群。それだけにどの楽曲も、心に響く秀逸な作品となっています。同じ詩に作曲された作品を聴き比べるのも、作曲家一人一人の個性が感じられ、面白いと思います。ピアノ伴奏での独唱を、どうぞじっくりとお楽しみください。

会員の皆様には、会員特典の招待券並びにチラシを同封致しました。どうぞ、皆様、お誘い合わせの上、是非ともお出かけください。
(副会長 小池静香)

歌曲の夕べ「ミニヨンと愛の夢」

日時: 2009年1月31日(土) 午後7時開演(午後6時30分開場)

場所: 高崎シティギャラリー コアホール

入場料: 2000円

出演: 伊藤真由美(アルト) 小池静香(メゾソプラノ)

石川理映子(ソプラノ) 西 美友貴(ソプラノ) 芹澤 泉(ソプラノ)

小松久美(ピアノ伴奏)

● 今後の予定

2009年

1月31日(土) 歌曲の夕べ
「ミニヨンと愛の夢」
(高崎シティギャラリー・コアホール)

2月22日(日) 勉強会 (Elm本部)

4月26日(日) 咲いてみましたホラホラコンサート
プチコンセールVol. 14
(高崎市榛名エコー小ホール)



各催しに参加、出演、来聴ご希望の方は、本部までお問い合わせください。

● 参加したい人「この指とお～まれっ！」

「聴いてみようかな」「やってみようかな」「見学したいな」と思われた方は、本部までご一報下さい。連絡先は下記の通りです。その他、すべてのお問い合わせも、下記にお願いします。



Elm歌曲研究会

郵便

電話、ファックス

電子メール

ホームページ

会費振込先

370-0868 群馬県高崎市鼻高町31-2

027-322-8237

hi@elmutaou.com

http://elmutaou.com/

郵便振替 00580-6-33594